

# 祝 辞

(社)全国建設機械器具リース業協会  
会長 片桐 理



## 不況に耐え凌ぐ体質を持つ業界へ

大阪建設機械リース協同組合の創立40周年記念式典を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

歴史を紐解けば、われわれの建設機械器具賃貸業は産声をあげてより、40数年を経過していると言われており、大阪支部の会員の皆様方が業界の先駆者として、また先導役として業界の発展に努めてこられたことを証明しているのも本日のこの式典であります。

社団法人全国建設機械器具リース業協会は、建設大臣より認可をいただいて23年となりますが、この大阪地区の皆様方は、われわれ業界の黎明期より、その必要性を認識され、一致団結して今日の大阪建設機械リース協'可組合に発展してこられてところであり、また、全国の業界の発展のために格段のお力添えをいただいたことは、誠に感謝にたえない次第であります。

これも石井理事長をはじめ、歴代の役員の方々のご努力や会員皆様のご協力があってこそ迎えられたものであり、深甚なる敬意を表するものでございます。

現在、建設業を取り巻く社会情勢は誠に厳しいものがございます。本年度は、公共事業に対する補正予算の見通しもなく、国家財政再建に向けて公共投資を大幅に抑制する方針があり、

来年度も大変厳しい状況にあります。

また、さらに、われわれ業界も含めてのことではありますが、公共工事のコスト縮減のための諸施策が閣議決定され、所要の機能と品質を確保しながらのコスト縮減に努力を求められております。

まさに英知を結集し、この課題に取り組んでいかねばなりません。

われわれの業界の第3次構造改革事業も、平成10年度スタートを目指し、現在ビジョンの作成に努めているところでありますが、当面する不況に耐え凌ぐ体質を持っている業界でなければなりません。必ずや道は開けてくるものと確信いたしておりますが、会員各位の一層のご協力が必要であります。

40周年を節目として、業界に対する色々な課題が山積みしておりますが、大阪支部会員の皆様方が、われわれ社団法人全国建設機械器具リース業協会の先駆者としての範を示され、大いに発展されますことを祈念いたすものでございます。

終わりにあたり、会員皆様の今後ますますのご繁栄と創立40周年を心からお慶び申し上げ、お祝いの言葉といたします。